

令和2年度

コミュニティ生活圏形成事業報告書 概要版

1. はじめに

秋田県では、人口減少や少子高齢化が急速に進行している中で、集落における日常生活に必要なサービス機能を維持・確保していくため、複数の集落による新たな生活圏である「コミュニティ生活圏」の形成を図る取組を令和元年度から本格的に実施している。

昨年度に実施した5市町に続いて令和2年度は新たに6市町で、市町ごとにモデル地区を選定し、地区別の人口診断と今後の定住増加に向けての取組検討を中心に、次のようなスケジュールで事業を展開した。

- ①コミュニティ生活圏単位で現状分析・将来人口予測の実施
- ②モデル地区における現地調査・ヒアリングの実施
- ③将来人口予測結果を示しながら、具体的な目標策定に向けた地区住民とのワークショップを2回開催
- ④市町ごと及び全県での報告会の開催

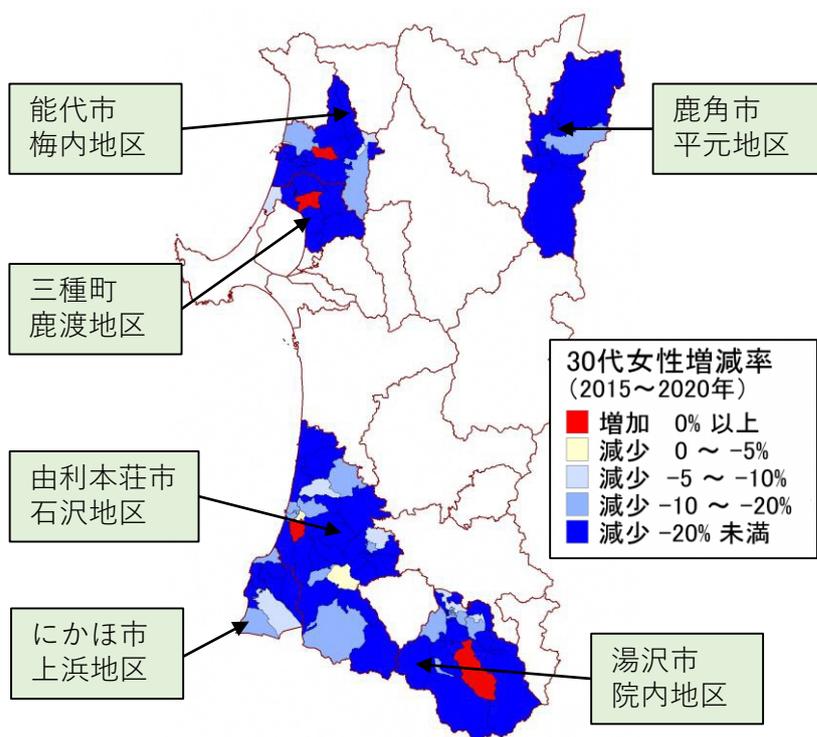


図 地区人口分析成果例「30代女性増減率2015～2020年」



手入れされた森林(能代市)



真那板平から望む院内(湯沢市)



かづの北限の桃(鹿角市)



石沢太鼓(由利本荘市)



三崎公園(にかほ市)



みたねこどもまつり(三種町)

2. モデル地区の概要

今年度は能代市梅内地区、湯沢市院内地区、鹿角市平元地区、由利本荘市石沢地区、にかほ市上浜地区、三種町鹿渡地区の6つのモデル地区で事業を実施した。各モデル地区の規模等は以下のとおりである。

表 モデル地区の基礎データ（2020年12月末時）

市町村 地区	項目	人口（人）	世帯数（戸）	高齢化率（％）	町内会・自治会数
能代市 梅内地区		399	169	53.9	7
湯沢市 院内地区		1,401	586	49.6	19
鹿角市 平元地区		1,370	499	38.0	7
由利本荘市 石沢地区		1,483	522	42.8	18
にかほ市 上浜地区		1,977	797	47.9	9
三種町 鹿渡地区		3,404	1,435	44.1	21

3. モデル地区における実施内容

各モデル地区では以下の取組を行った。

表 実施内容の概略

人口分析・推計	実施市町及び、市町内全ての地区において人口動態、人口予測等の分析と人口安定化シナリオを作成した。
現地調査・ヒアリング	モデル地区の現状を把握する目的で、市町の担当職員とモデル地区の住民の代表にヒアリングを行った。その後、住民の代表の案内でモデル地区を視察した。
ワークショップ（1回目）	前半 直近5年間の人口動態を確認しながら人口増減要因分析を行った。後半 地区の人口推計シミュレーションにより、定住者数の目標を検討する人口安定化シナリオを作成した。
ワークショップ（2回目）	地元天気図の作成（テーマ 30代女性が定住するとしたら） 前半 地元関係図を基に地区の強み弱みを検討した。 後半 定住増加や地区の弱みを補う策、将来展望を検討した。
市町報告会	本事業の概要と各モデル地区での取組の成果を基に、手法や手応えを実施市町全体に発信・共有する目的で開催した。
全県報告会	市町報告会同様に本事業の概要、今年度の取組の成果等を県民、県内市町村担当職員、関係機関に向けて発信・共有する目的で開催した。

4. 今後の期待される展開

これからも住み慣れた地域で暮らしていくために

- 地域座談会で課題を話し合ってみよう

例えば、地域の活動や祭りが人手不足で出来なくなってきた、交通手段がなくて買い物や通院が大変、除雪が一人では手に負えない等々

- 課題解決のために

- ①どんなことを
- ②いつからいつまでに
- ③誰があるいはどんな組織が中心となって
- ④どういう仕組みで取組むのかを考えてみよう

行動計画（グランドデザイン）の策定

- 住みよい地域のために自らが出来ることを考えよう
- 自治会単独での取組みが困難ならば、近隣自治会と新たなまとまりを構想してみよう

コミュニティ生活圏の構想と実現

- 小さな取組を積み重ねてより良い地域づくりをしていこう

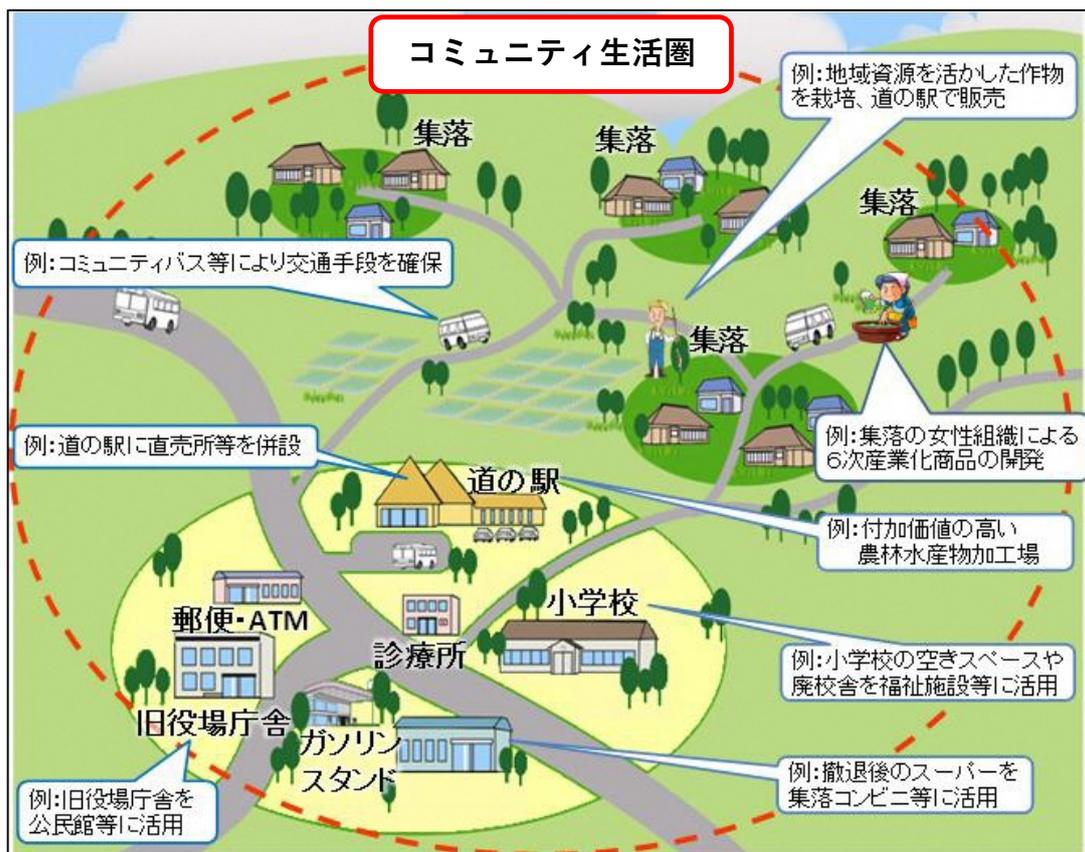


図 コミュニティ生活圏のイメージ

内閣府ホームページ「小さな拠点情報サイト」より一部改変し作成

https://www.cao.go.jp/regional_management/about/objective/index.html#obj02

次頁からモデル地区における取組のうち、ワークショップ（1回目）の人口増減分析と人口安定化シナリオ作成、ワークショップ（2回目）の地元天気図の後半部分のごく一部を抜粋し要約を記載する。

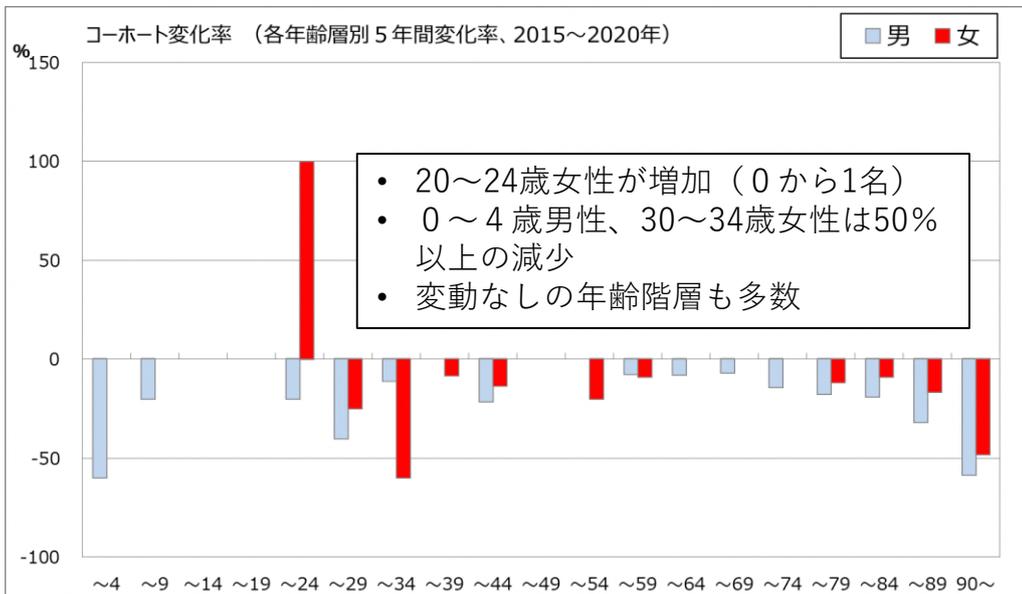
5. モデル地区における取組内容

(1) 能代市梅内地区

①ワークショップ (1回目)

■人口増減要因分析

日時 2020年9月7日(月)
19:00-21:00
場所 旧能代市子育て支援センターさんぽえむ
参加者 地域住民(25名)



<減少要因>

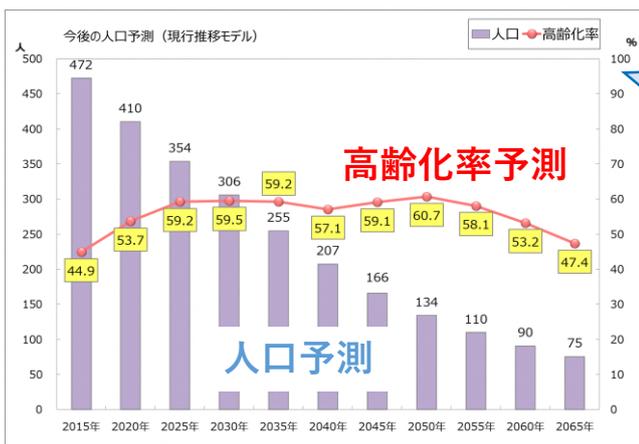
20代 働く場所がない、給料が安い
30代 結婚して市外へ
40代 通勤・通学の便利な所へ

<増加要因>

20代 結婚により女性が増加
50代 就農するため
50代 親の介護

■人口安定化シナリオ作成

人口予測 最近の減り方が続いた場合



20年後には

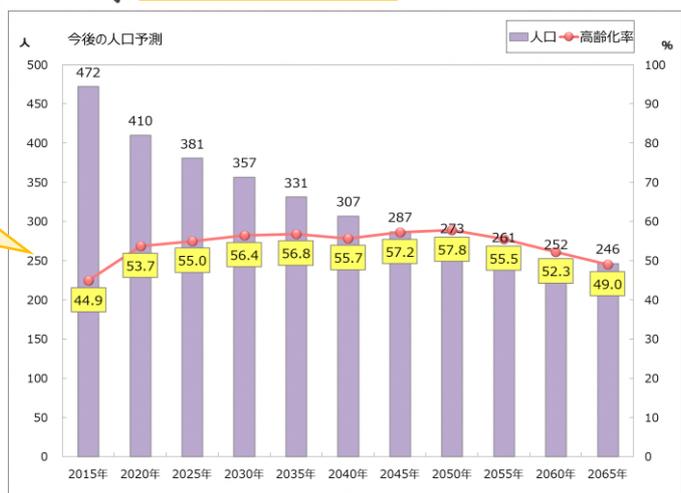
人口は410人→207人(49.5%減少)
高齡化率は53.7%→57.1%(3.4%上昇※)
※直近5年の20代女性の増加分が上げ幅を抑制

そこで、D班の検討結果

20代夫婦 0組
30代夫婦 1組
60代夫婦 2組

を毎年呼び込め
ばどうなる？

人口減は下げ止まらないが緩やかに
(20年後は現在の25.1%減)
高齡化率は徐々に安定的になる



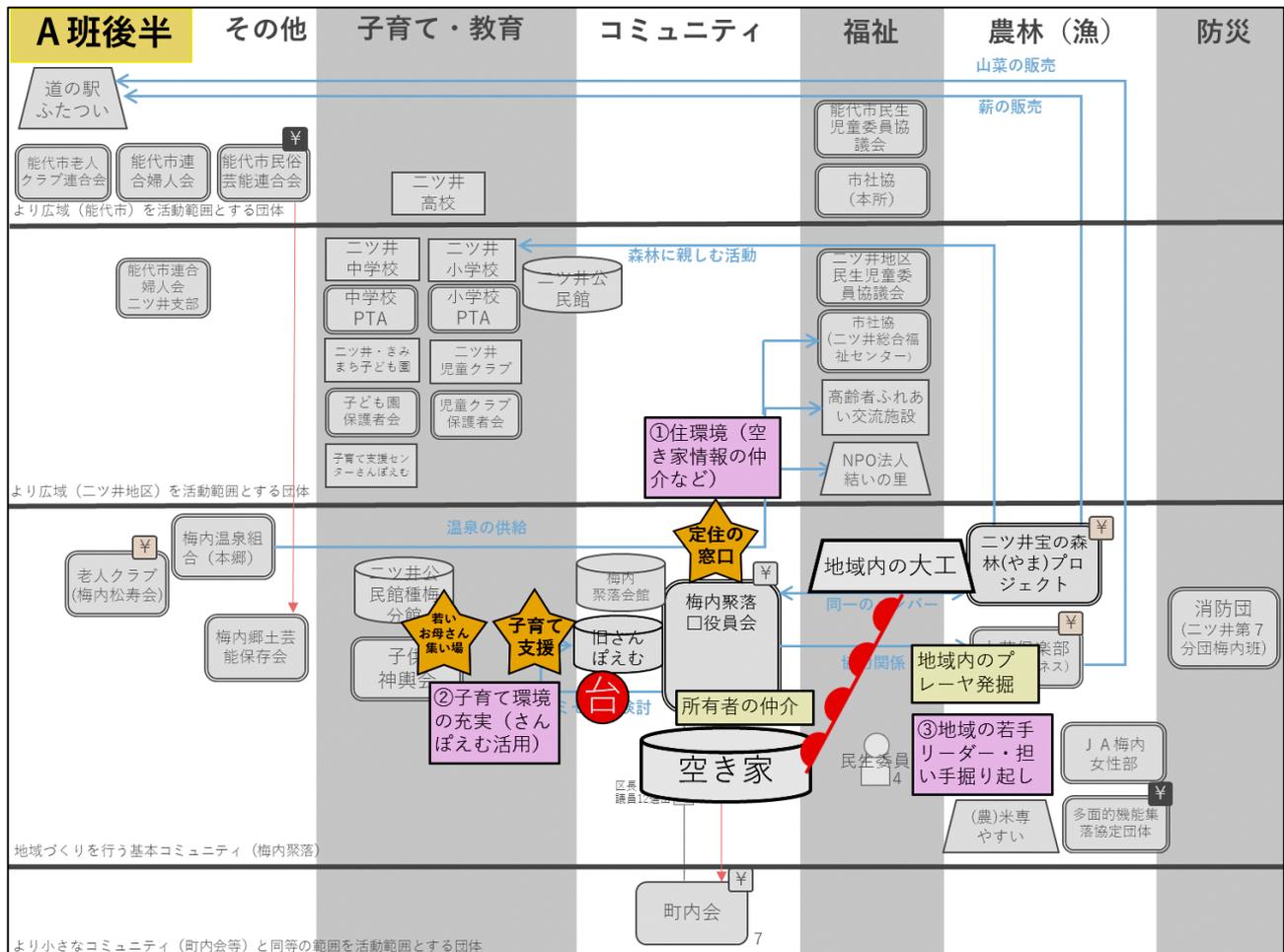
5. モデル地区における取組内容

(1) 能代市梅内地区

②ワークショップ（2回目）

■地元天気図作成

日時	2020年11月11日（水） 19：00－21：00
場所	旧能代市子育て支援センターさんぽえむ
参加者	地域住民（20名）



A班の検討結果

- 子育て支援の拠点化を目指し、お母さん方の集いの場とするため旧能代市子育て支援センターさんぽえむを利活用する
- 空き家を地区の大工さんに手伝ってもらいながら、住民の力で改修する
- 梅内聚落は空き家の利用を促すように持ち主との仲介を行い、移住の窓口となり改修された空き家を移住者へ斡旋する
- 梅内聚落の若い担い手を発掘する



③成果と今後に向けて

- 梅内地区の勘所は梅内聚落と森林資源活用であるが、活動を継続するためには新たな担い手の確保が重要で、やる気のある若手にほど良い距離感での働きかけが望まれる
- 旧さんぽえむの利活用は地区住民にとって満足度が高く、また、梅内地区の重要なアピールポイントになるように議論を重ねていきたい

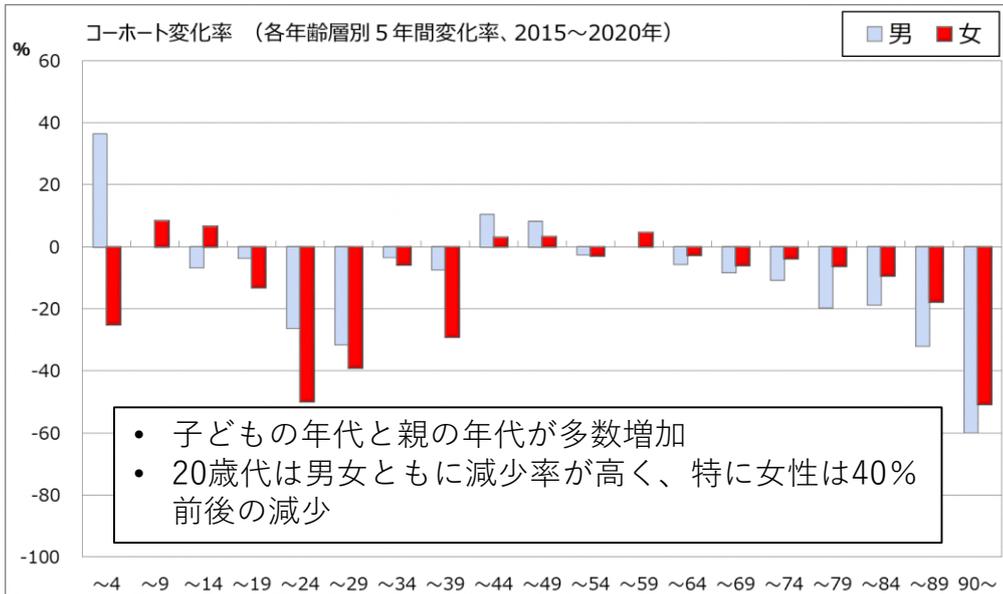
5. モデル地区における取組内容

(2) 湯沢市院内地区

①ワークショップ (1回目)

■人口増減要因分析

日時 2020年9月13日(日)
14:00-16:00
場所 院内地区センター
参加者 地域住民(36名)



<減少要因>

20代 賃貸物件が少ないから
30代 地域外に新築したので
60代 子どものところへ

<増加要因>

30代 家業を継ぐため
30代 都会に疲れて
40代 子供の通学のため

■人口安定化シナリオ作成

人口予測 最近の減り方が続いた場合



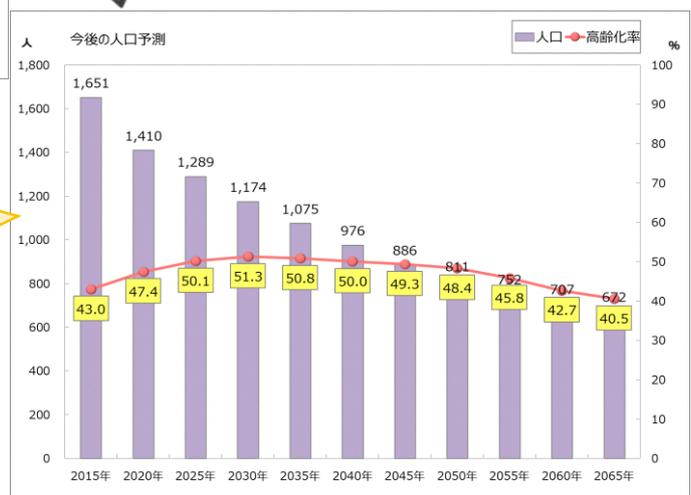
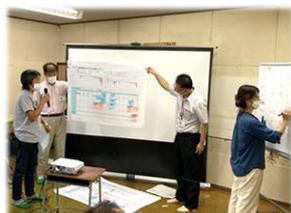
20年後には
人口は1,410人→750人 (46.8%減少)
高齢化率は47.4%→58.3% (10.9%上昇)

そこで、D班の検討結果

20代夫婦 1組
30代夫婦 1.5組
60代夫婦 2組

を毎年呼び込め
ばどうなる？

人口減は下げ止まらないが緩やかに
(20年後は現在の30.8%減)
高齢化率は徐々に落ちついていく



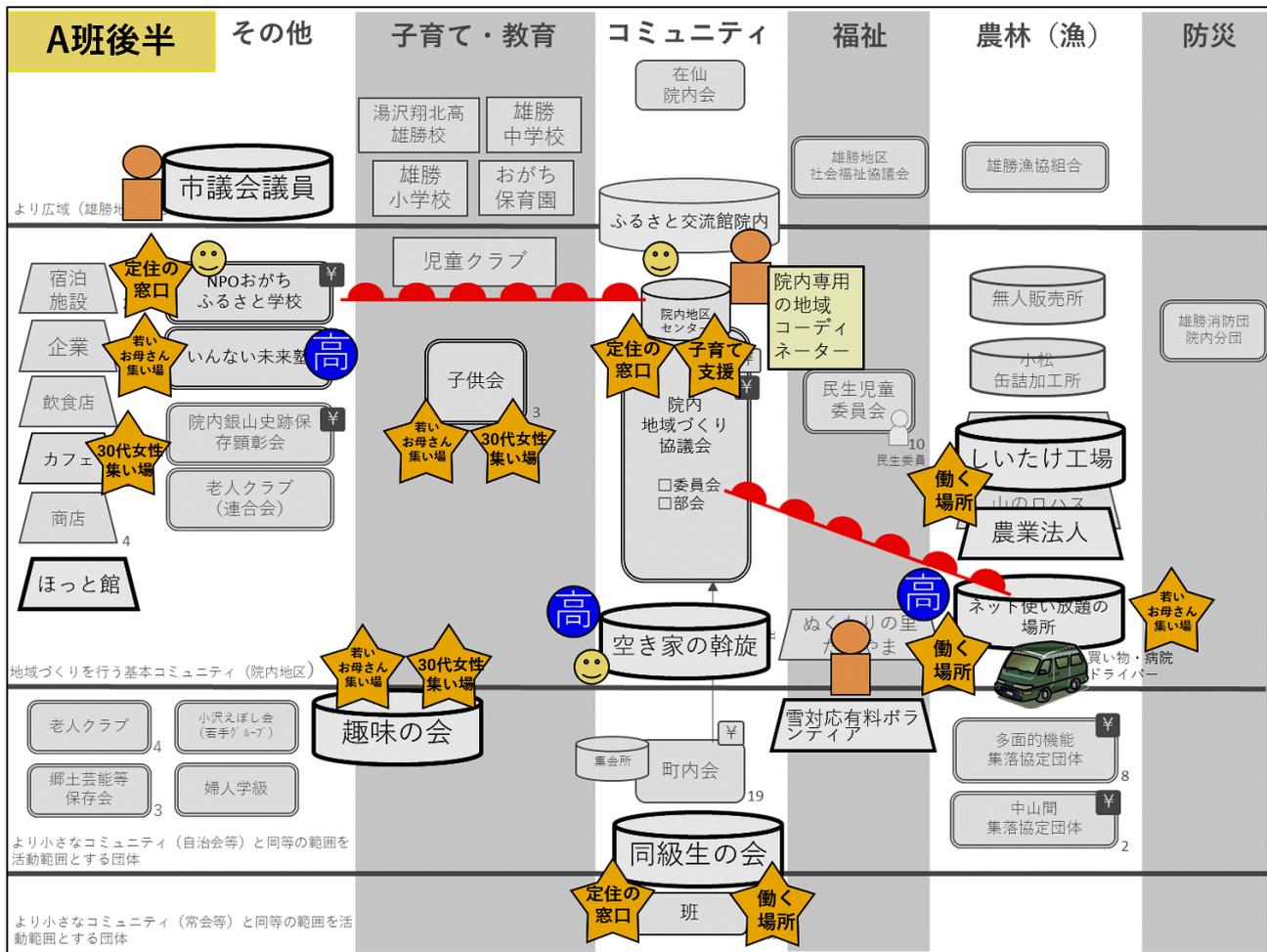
5. モデル地区における取組内容

(2) 湯沢市院内地区

②ワークショップ（2回目）

■地元天気図作成

日時 2020年11月1日（日）
14：00－16：00
場所 院内地区センター
参加者 地域住民（34名）



A班の検討結果

- まずは「いんない未来塾」がこれからも頑張ってくれることに期待している
- 移住や定住に向けた対応として、若いお母さんや30代の女性が集まる場として、趣味の会や同級生の会を創設する
- 若者を呼び込むにはインターネット使いたい放題の場所は重要
- 少し手を加えれば使える空き家が多数あるので、斡旋していきたい
- 期間限定だが除雪の有償ボランティアを収入源に出来るのでは



③成果と今後に向けて

- 院内住民の多様な組織、有志グループが底力を持っており協力し合って全体として緩やかに繋がっていくような地域のあり方のイメージが全世代で共有されている
- 院内地区センターを拠点としながら「院内地域づくり協議会」が有機的な接着剤として機能していくことが一層の発展のカギとなる

5. モデル地区における取組内容

(3) 鹿角市平元地区

①ワークショップ (1回目)

日時 2020年10月9日 (金)
18:00-20:00
場所 柴平地域活動センター
参加者 地域住民 (24名)

■人口増減要因分析



<減少要因>
10~ 看護師等の女性が望む職種
20代 への就職や進学
40代 子供の進学に伴い転出

<増加要因>
20代 男性の雇用先充実(工業系)
30代 分譲地への転入
30代 女性は適応能力が高い

■人口安定化シナリオ作成

人口予測 最近の減り方が続いた場合



20年後には
人口は1,380人→861人 (37.6%減少)
高齢化率は37.7%→47.6% (9.9%上昇)

そこで、C班の検討結果

20代夫婦 0組
30代夫婦 2組
60代夫婦 1組

を毎年呼び込め
ばどうなる？

人口減は下げ止まらないが緩やかに
(20年後は現在の25.6%減)
高齢化率は徐々に落ちついていく



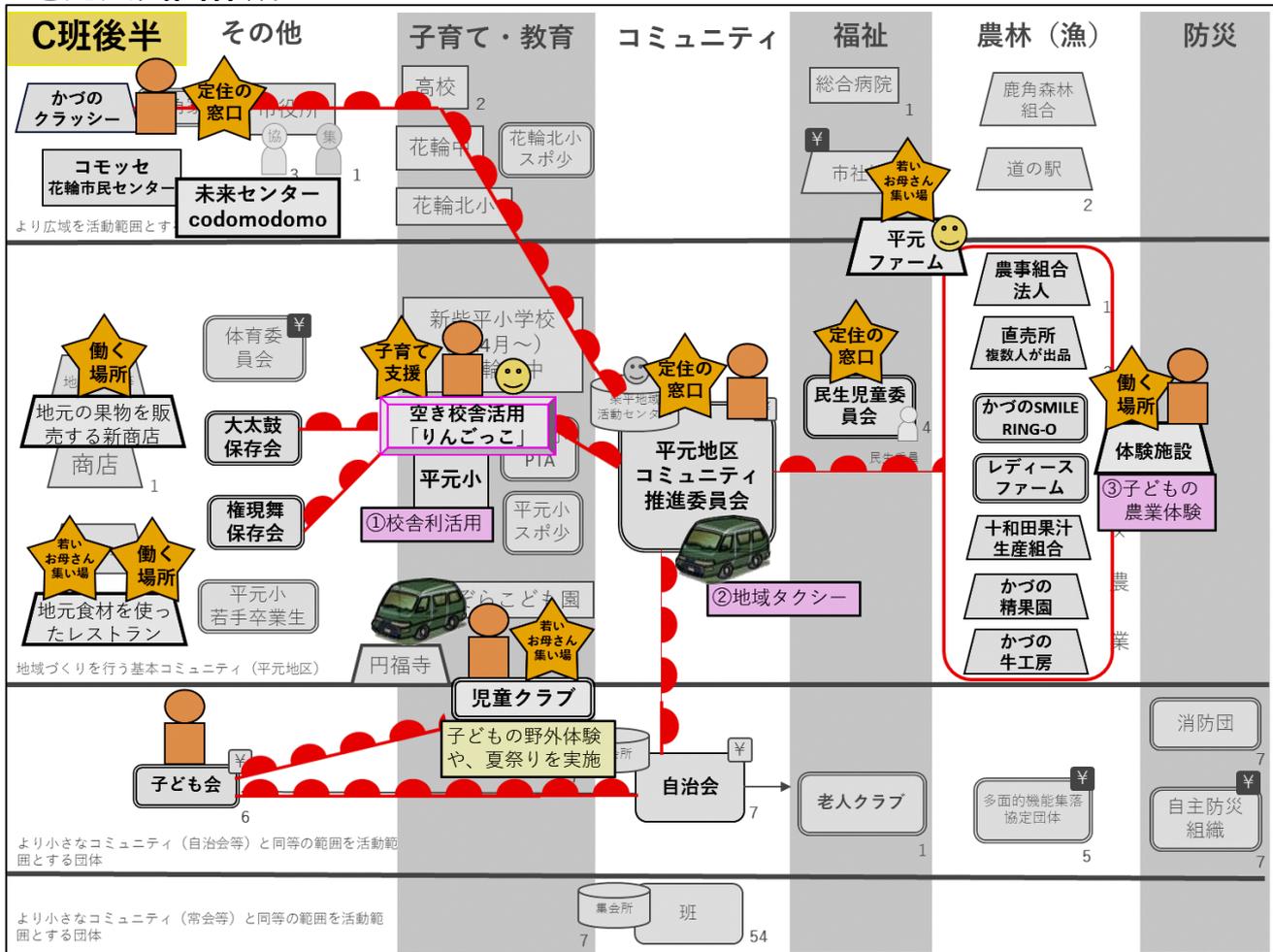
5. モデル地区における取組内容

(3) 鹿角市平元地区

②ワークショップ（2回目）

■地元天気図作成

日時 2020年11月27日（金）
18：00－20：00
場所 柴平地域活動センター
参加者 地域住民（19名）



C班の検討結果

- 閉校後の平元小学校を夏祭りや子どもの体験施設、図書館機能を備えた「りんごっこ」として学校とは違う子育て支援の拠点とする
- そこには若い女性の集いの場、雇用を生み出す地元食材を使ったレストランのアイデアも付け加えたい
- 上記を対外的に発信しながら、平元地区コミュニティ推進委員会はかつのクラッシーとの関係構築を図り、機能強化することで移住者受入れ体制を整える



③成果と今後に向けて

- 無風状態のまま人口減少が知らず知らずのうちに深刻化していた状況から、ビジョン（将来像）を地元天気図として検討するまでに至った
- 今後はそのビジョンをより実現可能性の高いものになるように検討を重ね、具体的なミッションを考え、主体的に実践していくよう総力戦で取組みたい

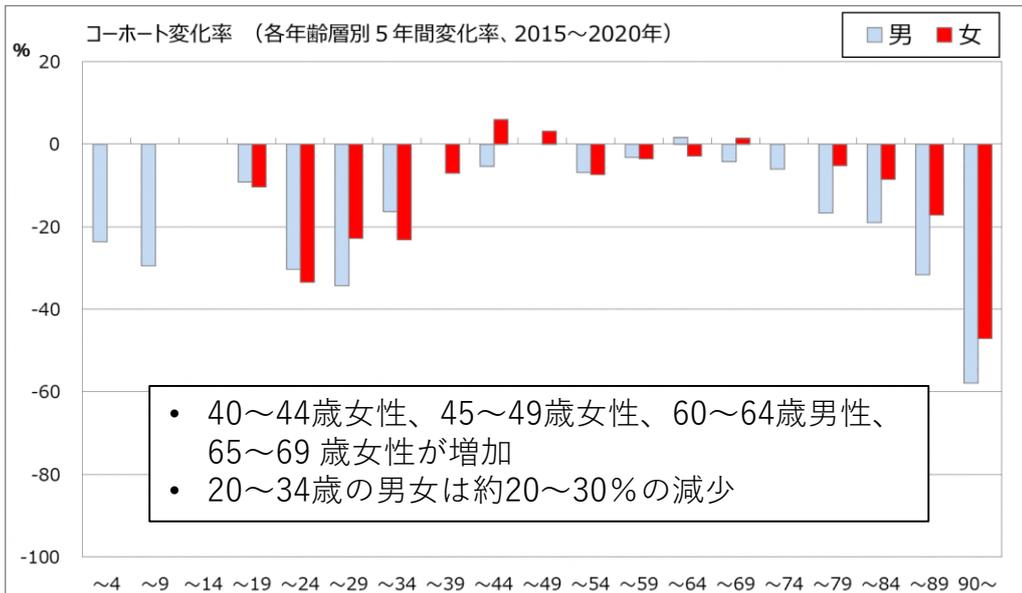
5. モデル地区における取組内容

(4) 由利本荘市石沢地区

①ワークショップ (1回目)

■人口増減要因分析

日時 2020年9月18日 (金)
18:30-20:30
場所 石沢公民館
参加者 地域住民 (17名)



<減少要因>

20代 アパートがない
20代 子育て条件が不利
30代 市内に家を建てて出ていく

<増加要因>

30代 親に子の面倒をみてもらう
40代 離婚後のUターン
50代 実家を空き家にしたくない

■人口安定化シナリオ作成

人口予測 最近の減り方が続いた場合



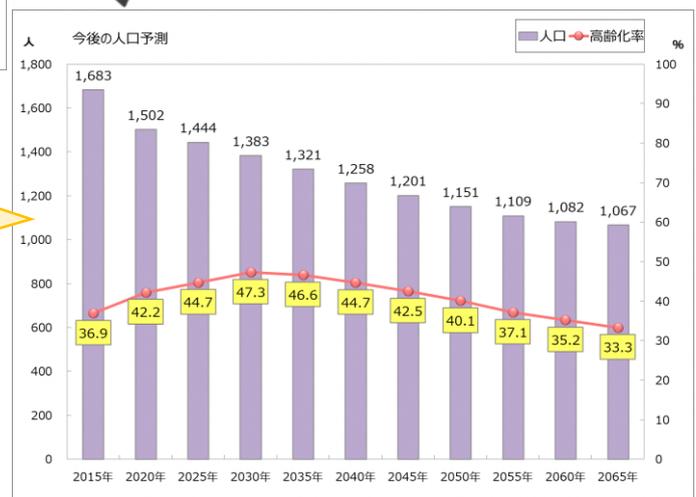
20年後には
人口は1,502人→880人 (41.4%の減少)
高齢化率は42.2%→57.5% (15.3%上昇)

そこで、D班の検討結果

20代夫婦 2.5組
30代夫婦 2.5組
60代夫婦 2組

を毎年呼び込め
ばどうなる？

人口は現在の約40%減の1,000人くらい
で安定 (20年後は現在の16.2%減)
高齢化率は徐々に落ちついていく



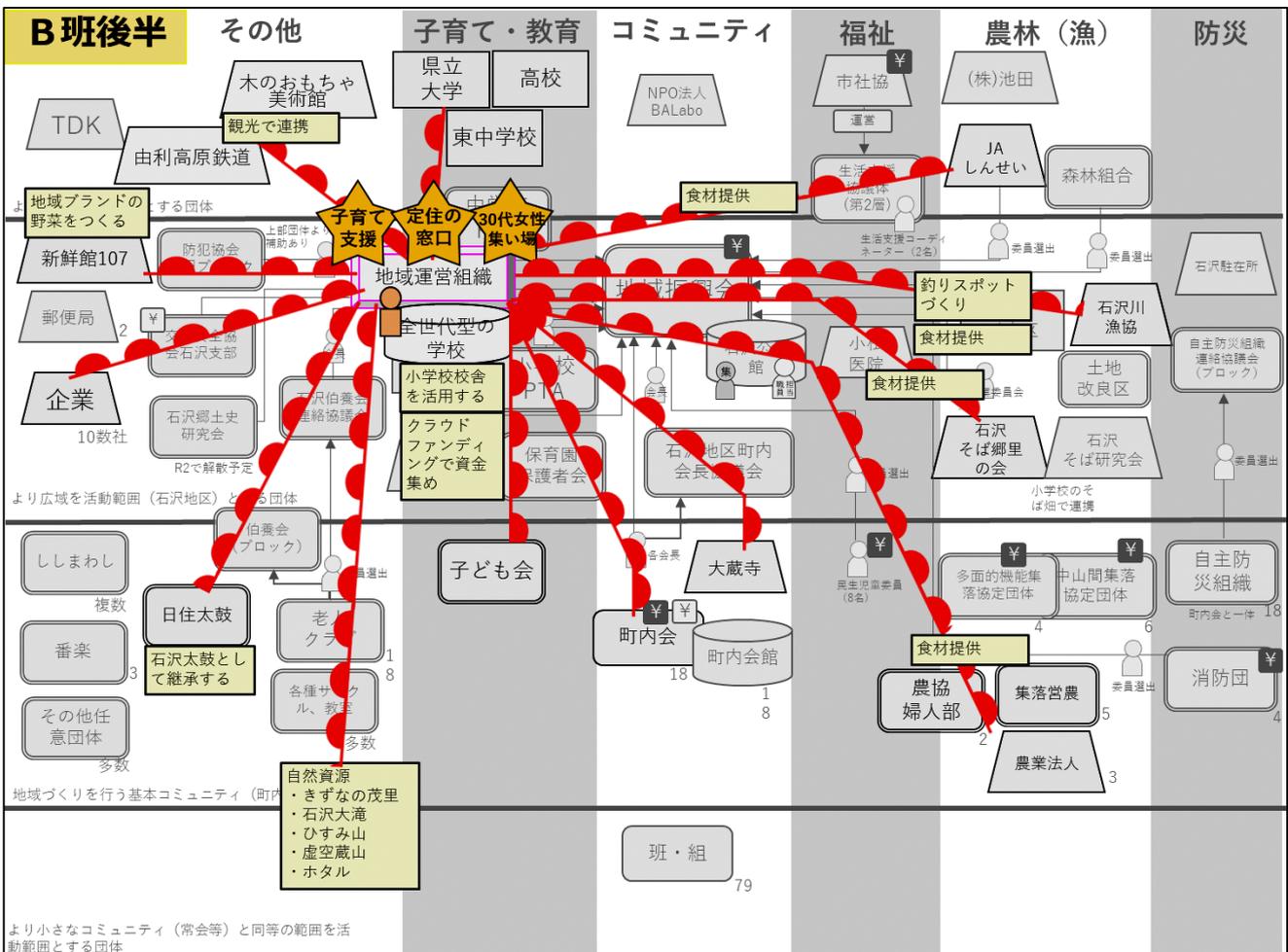
5. モデル地区における取組内容

(4) 由利本荘市石沢地区

②ワークショップ（2回目）

■地元天気図作成

日時	2020年11月13日（金） 18：30－20：30
場所	石沢公民館
参加者	地域住民（18名）



B班の検討結果

- 石沢小学校の利活用を起点に地区内の活動団体や組織をつなぎ合わせる
- 小学校を子育て支援、若い女性の集まる場、定住の窓口として整備
- さらにカフェやレストランをつくり、石沢そば郷里の会等からの食材提供等の連携、自然資源や農業を活用した体験づくりに取り組む
- 中学校や高校、大学、木のおもちゃ美術館等と連携した地域学習や観光プランの企画実施



③成果と今後に向けて

- 石沢小学校を運行が予定される乗り〔逢い〕交通の基地や交流サロン、特産品を売買出来る地産地消の拠点等、全住民が多用途に使える拠点となるよう取組みたい
- 一方で、若い世代の女性から利活用の声も多いので、集える場所や子育ての相談が出来るカフェ等、ターゲットを絞った移住促進に寄与する方針も検討してみる

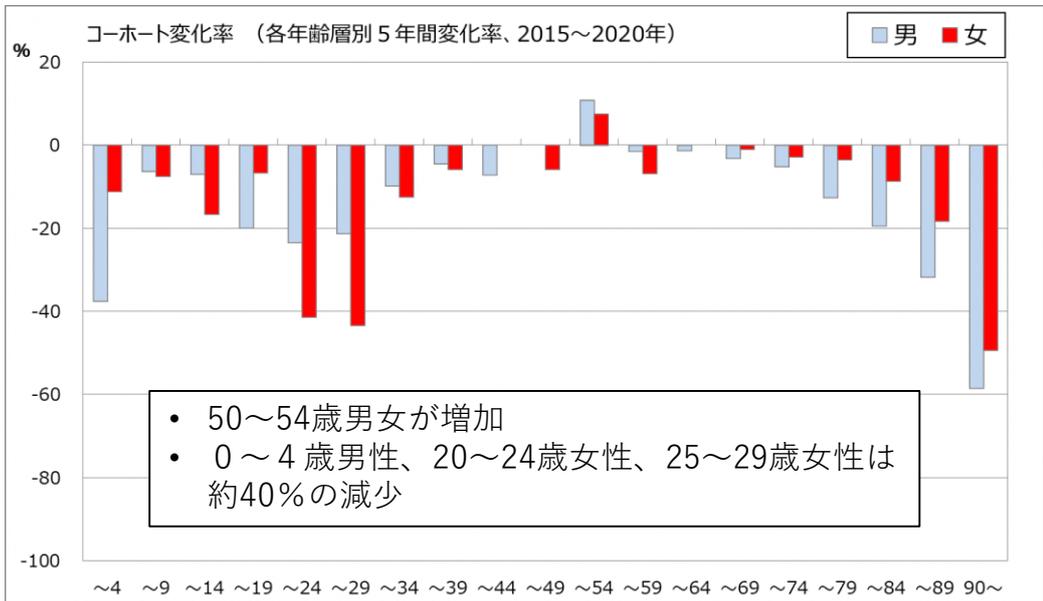
5. モデル地区における取組内容

(5) にかほ市上浜地区

①ワークショップ (1回目)

日時 2020年9月17日 (木)
18:30-20:30
場所 上浜構造改善センター
参加者 地域住民 (34名)

■人口増減要因分析

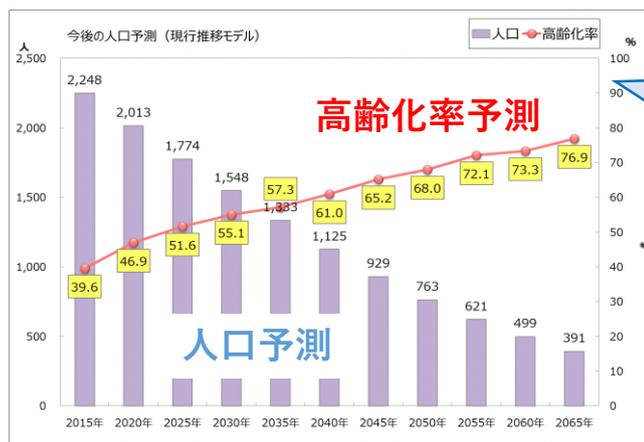


<減少要因>
20代 地元に職種が少ないから
30代 通勤に不便で
40代 子どもの高校通学のため

<増加要因>
20代 離婚後にUターン
50代 親の介護のため
60代 退職後のUターン

■人口安定化シナリオ作成

人口予測 最近の減り方が続いた場合



20年後には
人口は2,013人→1,125人 (44.1%減少)
高齢化率は46.9%→61.0% (14.1%上昇)

そこで、E班の検討結果

- 20代夫婦 3組
- 30代夫婦 4組
- 60代夫婦 2組

を毎年呼び込めばどうなる？

人口は現在の約40%減の1,300人くらいで安定 (20年後は現在の19.8%減)
高齢化率は徐々に落ちついていく



5. モデル地区における取組内容

(6) 三種町鹿渡地区

①ワークショップ (1回目)

■人口増減要因分析

日時 2020年9月3日 (木)
18:30-20:30
場所 琴丘地域拠点センター
参加者 地域住民 (16名)



<減少要因>

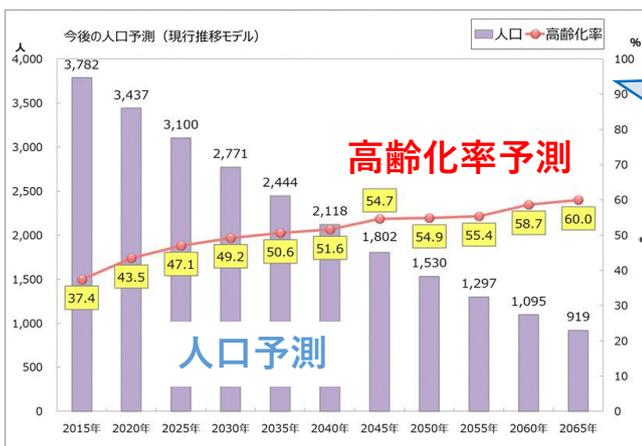
20代 女性が働きやすい職場がない
30代 住居 (賃貸) 不足
40代 新築して他市町へ

<増加要因>

30代 子育てへの親の支援
町の子育て支援が充実
50代 親の介護

■人口安定化シナリオ作成

人口予測 最近の減り方が続いた場合



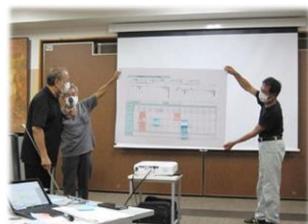
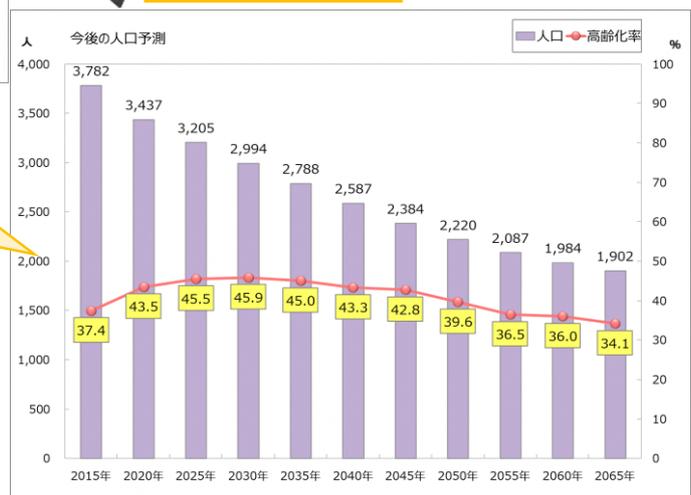
20年後には
人口は3,437人→2,118人 (38.4%減少)
高齢化率は43.5%→51.6% (8.1%上昇)

そこで、A班の検討結果

20代夫婦 3組
30代夫婦 2組
60代夫婦 1組

を毎年呼び込め
ばどうなる？

人口減は下げ止まらないが緩やかに
(20年後は現在の24.7%減)
高齢化率は徐々に落ちついていく



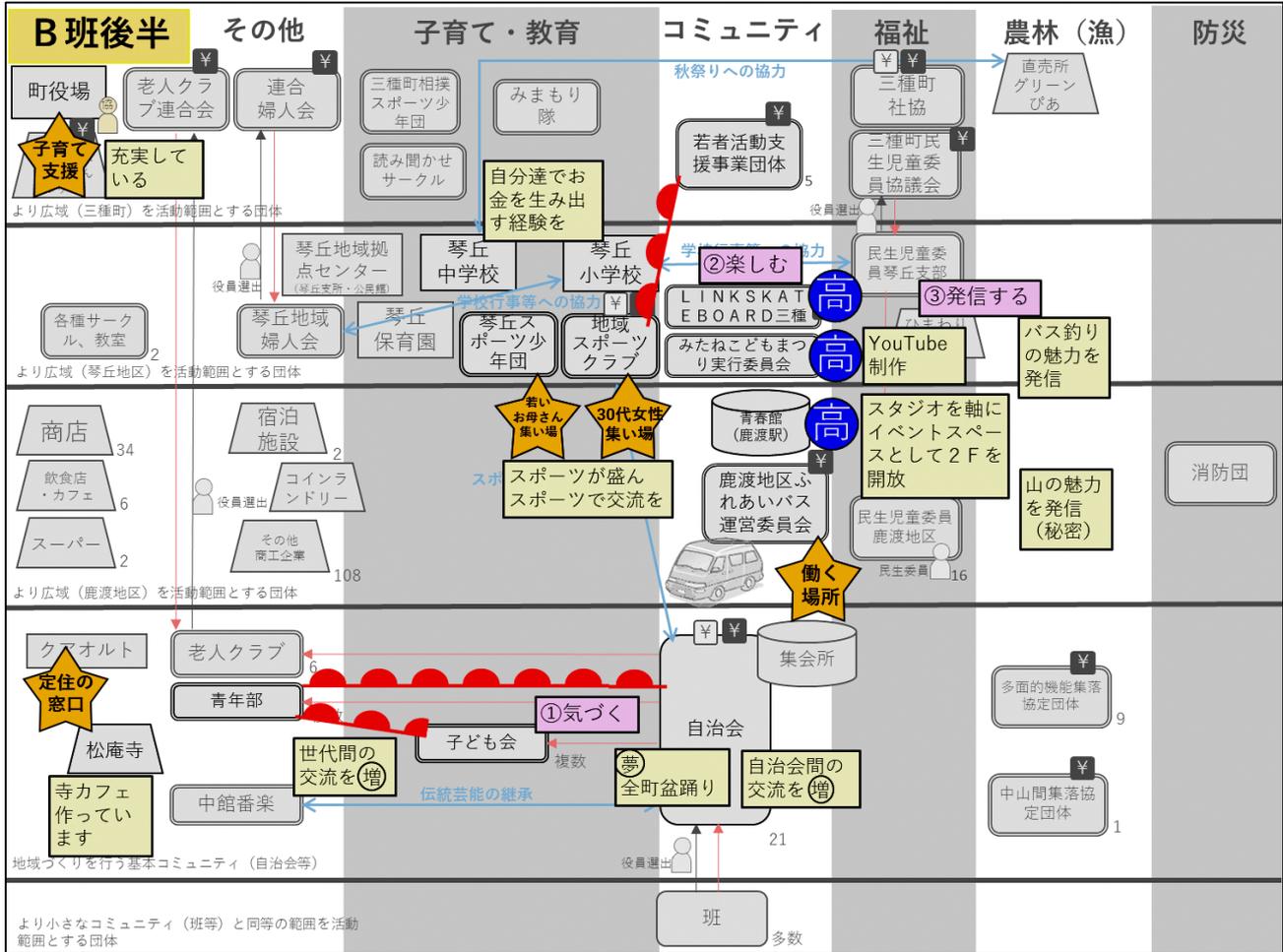
5. モデル地区における取組内容

(6) 三種町鹿渡地区

②ワークショップ (2回目)

■地元天気図作成

日時 2020年11月12日 (木)
18:30-20:30
場所 琴丘地域拠点センター
参加者 地域住民 (16名)



B班の検討結果

- 町の子育て支援は充実しているので、このまま継続して欲しい
- スポーツが盛んなのでスポ少を通じたお母さんの交流の場、各種スポーツクラブを女性の集いの場に
- 寺カフェで町内外の交流促進、移住の窓口
- 自治会間の交流促進、全町盆踊りが最終目標！！
- 「気付く」、「楽しむ」、「発信する」がない地域には人を呼び込めない



③成果と今後に向けて

- 中心地域であっても人口減少は進み、解消するための困難さを認識し共有した
- 現状は個別の住民有志の取組を皆で見守り、参加し、支援することが大事
- 各自治会の衰えが進行する前に「鹿渡地区単位」でのまとまりの必要性を醸成する
- 本事業での検討結果も用いて行動計画(グランドデザイン)策定に取組みたい

6. まとめと今後に向けた政策提言

(1) 成果

今年度は、コロナウイルス対策に多大な労力を割かれながらも、昨年度に引き続き次のような成果を上げることが出来た。

- ①各自治体における地区別人口の現状、予測、安定化シナリオの解明
- ②地区住民参加によるワークショップを通じての今後の取組方向の明確化
- ③市町報告会等を通じての今後の取組モデルの提示

(2) 今後求められる進化（政策提言）

昨年度からの取組と他の類似した全国事例も踏まえて、以下の10+1項目が成功している地域づくりの共通条件であることが見出されている。自分たちの地域で達成出来ているもの、不足しているものを整理し、重点的な進化に踏み出す際のチェックリストとして、活用していただきたい。同じ評価項目で多数の地域を横断的に診断していくことで、市町村や秋田県内での地域同士の優れた事項や取組の学び合いが促進されることを望みたい。

- 生態系 ～ 地域全体としての多角形のつながり
- 集い ～ みんなが集まり、話す場や機会
- 連結 ～ 地域全体をつなぐ組織や人材、拠点
- 連関 ～ 生産だけでなく、加工・販売も連動
- 女性 ～ 女性が活躍するポジションがある
- 後見人 ～ 移住者や若者を支えるベテラン住民
- 法人 ～ 機動的に動く会社・事業組織が存在
- 楽しみ ～ 暮らしを豊かにするアートやサークル
- 窓 ～ 閉鎖的でなく、外との交流の窓口がある
- 情報 ～ 地域内外への情報発信・共有のしくみ
- +長期展望 ～ 10年続ける覚悟と循環型社会への転換

<元気な地域社会づくり10+1の条件>

コミュニティ生活圏形成事業報告書 概要版
発行年月：令和3年3月
発行：秋田県あきた未来創造部 地域づくり推進課
〒010-8570 秋田県秋田市山王4丁目1-1
TEL：018-860-1215
委託機関：一般社団法人 持続可能な地域社会総合研究所
〒699-3671 島根県益田市津田町1401
TEL：0856-55-1011